なお、各類縁物質のレスポンスファクター（RF_c）は次式を用いて求める。ジメチルビフェニル異性体のRF_cは、３－メチルビフェニルのRF_cを用いる。

$$RF_c=\frac{A_{c2}\times M_{i2}}{A_{i2}\times M_{c2}}$$

A_{i2}：標準液中の安息香酸プロピルのピーク面積

A_{c2}：標準液中の各類縁物質のピーク面積

M_{c2}：標準液中の各類縁物質量（mg）

M_{i2}：標準液中の安息香酸プロピル量（mg）

操作条件

検出器：水素炎イオン化検出器

カラム：内径0.32mm、長さ15～30mのフューズドシリカ管にニトロテレフタル酸が修飾されたポリエチレングリコールを１μmの厚さで被覆したもの

カラム温度：100℃で１分間保持した後、毎分３℃で210℃まで昇温する。

注入口温度：240℃（昇温プログラムの設定が可能な場合は初期温度80℃で毎秒12℃で270℃まで昇温する。）

検出器温度：240℃～250℃

キャリヤーガス：ヘリウム

流量：毎分約３mL（圧力制御が可能な場合は47kPaで4.35分間保持した後、毎分0.28kPaで58kPaまで昇圧する。）

注入方式：スプリット

スプリット比：１：10

乾燥減量　0.5％以下（１ｇ，シリカゲル，３時間）

強熱残分　0.05％以下（１ｇ）

定量法　本品を乾燥し、その約0.5ｇを0.001ｇの桁まで量り、その数値を記録し、中和エタノール25mL及び水25mLを加えて溶かし、0.1mol／Ｌ水酸化ナトリウム溶液で滴定する（指示薬　フェノールフタレイン試液３滴）。

0.1mol／Ｌ水酸化ナトリウム溶液１mL＝12.21mg$C_7H_6O_2$

(イ)　製造の方法の基準

トルエンを空気酸化して製造すること。

(ウ)　保存の方法の基準

密閉容器に保存すること。

イ　製剤

(ア)　成分規格

安息香酸製造用原体の成分規格を準用する。

(イ)　保存の方法の基準

安息香酸製造用原体の保存の方法の基準を準用する。

(155)～(161)　（略）

(154)～(160)　（略）

附　則

この省令は、公布の日から施行する。